

東京外かく環状道路の建設促進に関する決議

近年、急速に進むグローバル化の中で、東京の役割はこれからも日本経済を牽引しつつ、世界の主要都市に比して豊かで良好な都市環境を創造することであるが、現下においては、アジアにおける中枢拠点機能が、政策として社会資本を集中的に整備してきたシンガポールや香港、上海などにシフトしてきており、わが国の国際的地位の相対的低下が危惧されている。その解決に向けては、まずは、首都である東京が国際競争力を発揮するための環境を早急に整備することが重要であり、基盤となる社会資本等の整備に国家戦略として取組むべきである。

中でも、首都圏環状道路の基幹ネットワーク整備は喫緊の課題であり、そのひとつである東京外かく環状道路についても、整備への期待が高まっている。

東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）は、昭和41年7月に都市計画決定されながら、昭和45年以降約30年間その計画が凍結されていたが、沿道住民や地元関係自治体との協議を経て今年4月に大深度地下を基本とした地下構造へと都市計画変更された。

同路線の整備による効果は、環状八号線やその周辺部の交通渋滞解消による経済活動の活性化や環境改善に多大な効果を期待できるものである。また、同路線は前述の課題解決に大いに貢献できる必要不可欠な道路である。

よって、その整備が遅れている東京外かく環状道路について、東京都商工会議所連合会・東京都商工会連合会をはじめ、業界団体、各種団体が連携して整備促進連絡会議を発足させ、下記のとおり関係機関に継続的に働きかけを行っていくこととする。

記

1. 国土開発幹線自動車道建設会議を早期に開催し、東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）を基本計画、整備計画に位置付け早期事業化を図ること。
2. 東京外かく環状道路（東名高速以南）について、早期に検討、調整を図ること。

平成19年10月22日

東京外かく環状道路（関越道～湾岸線）整備促進連絡会議

東京外かく環状道路（関越道～湾岸線）整備促進連絡会議

団体名	代表者	連絡会議・委員
東京商工会議所	会頭 山口 信夫	常務理事 茂木 洋
八王子商工会議所	会頭 檜崎 彰男	専務理事 河合 和郎
武蔵野商工会議所	会頭 稲垣 英夫	専務理事 尾崎 光二
青梅商工会議所	会頭 清水 保男	専務理事 乙黒 藤雄
立川商工会議所	会頭 岩崎 泉	専務理事 小松 清廣
むさし府中商工会議所	会頭 伊達 和男	専務理事 堤 薫
町田商工会議所	会頭 平本 勝哉	専務理事 三枝 政義
多摩商工会議所	会頭 峯岸 松三	専務理事 松浦 成業
東京都商工会連合会	会長 桂 教夫	専務理事 坂爪 正二
社団法人東京都トラック協会	会長 星野 良三	専務理事 牧野 良一
社団法人東京バス協会	会長 上條 克之	専務理事 平林 光政
社団法人東京乗用旅客自動車協会	会長 富田 昌孝	常務理事 宇野 三夫
東京都商店街連合会	会長 桑島 俊彦	専務理事 池田 利明
財団法人東京観光財団	理事長 田中 順一郎	専務理事 奥田 匠
社団法人東京青年会議所	理事長 松本 直勝	専務理事 永塚 弘毅

(計15団体)

事務局:東京商工会議所 地域振興部 03-3283-7992